

第64代理事長 退任のご挨拶



第64代理事長 高尾篤史

この度、第64代理事長を任期満了に伴い退任することになりました。昨年、4月の総会において理事長に選出され、第63代理事長綱木氏からバトンを引継ぎ、理事長として戸惑いながらの船出でしたが、時が経つのも早く、何とか無事に任期を終える事が出来ました。これもひとえに会員の皆様方のご指導、ご鞭撻ならびに御協力を頂いたからであると深く感謝申し上げます。

理事の皆様、執行部の皆様には、至らぬ点、ご心配をお掛けした点、多々あったかと思いますが、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

また行事を担当して頂いた皆様、そして参加して頂いた皆様には本当に多くのことを教わりました。そして私にとって一生の仲間となり財産となりました。

1年間、【温故知新未来のために】をテーマとして、青年クラブが今後も素晴らしい場所として、次世代に引き継ぐことを目指し今年度、組織改革委員会を立ち上げました。明確にした課題を乗り越え変化に対応するために、諸先輩方のこれまでの経験や知識を取り入れ各世代の方々と意見交換し活動してきましたが、まだまだ力不足で、反省することも多々ございました。

青年クラブは様々な菓子製造業や問屋業、そして協賛会員の方が所属されており、職場では得られないことを体験することが出来ます。それによって人の縦の繋がり、横の繋がりを作り、また新たな発想を生み、自分自身が成長して、将来に必ず役に立つ経験をできる貴重な場です。若い会員の方には、積極的に事業に参加し、そして参画して頂きたいと思います。

最後になりましたが、理事長という重責を遂行できましたのも、一重に役員の皆様方、並びに現役会員の皆様、OB 会員の諸先輩方、協賛会員の皆様、本当に大勢の皆さんのご協力やご助言によるものと深く感謝し、お礼申し上げます。

これからの大阪菓業青年クラブの発展と、会員の皆様方より一層のご発展を祈願いたしまして1年間のお礼とさせていただきます。

大阪菓業青年クラブ理事長 高尾篤史